

結婚と出産に関する意識調査

報告書

平成 27 年9月 29 日

奈良市

《 目 次 》

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
(1) 調査対象.....	1
(2) 調査方法.....	1
(3) 調査時期.....	1
(4) 回収率等.....	1
II. 調査結果.....	2
1. 回答者の属性.....	2
(1) 年齢（問1）	2
(2) 居住小学校区（問2）	3
(3) 家族構成（問3）	4
(4) 職業（問4）	5
(5) 職場・通学先（問5）	6
2. 結婚について.....	7
(1) 婚姻状態（問6）	7
(2) 結婚生活が続ける場合の心配や不安（問7・既婚者対象）	8
(3) 結婚（再婚）をしない（したくない）理由（問8・非婚者対象）	9
(4) 独身生活が続ける場合の心配や不安（問9・非婚者対象）	10
(5) 結婚に関する意向（問10・非婚者対象）	11
(6) 希望初婚年齢（問11・非婚者のうち未婚の回答者対象）	12
(7) 結婚生活における独身生活にはない利点の有無（問12）	13
(8) 結婚生活の具体的な利点（問13）	14
(9) 独身生活における結婚生活にはない利点の有無（問14）	15
(10) 独身生活の具体的な利点（問15）	16
(11) あると結婚（再婚）しやすくなると思う支援（問16）	17
3. 出産について.....	18
(1) 現在の子どもの数（問17）	18
(2) 希望の子どもの数と現実的に考えた子どもの数（問18・問19）	19
(1) 子どもが欲しくない、または「現実的に考えた子どもの数」が「希望の子どもの数」よりも少なくなる理由（問20）	20
(2) 希望の数まで子どもをもつために必要と思われる支援（問21）	22
4. 仕事との両立について	23
(1) 結婚前後の仕事の状況（問22・既婚者対象）	23
(2) 家事や子育ての分担（問23・既婚者対象）	24

(3) 出産を機に仕事をやめた経験の有無（問 24・既婚者対象）	25
(4) 出産を機に仕事をやめた理由（問 25・既婚者対象）	25
(5) 出産後の仕事再開の状況（問 26・既婚者対象）	26
(6) 仕事を再開する理由（問 27・既婚者対象）	27
5. 居留意向について.....	28
(1) 奈良市での居留意向（問 28）	28

I. 調査の概要

1. 調査の目的

「(仮称) 奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めるにあたり、市民の結婚や出産に関する意識を把握し、人口減少克服に向けた対応を検討する際の参考とすることを目的に実施する。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

平成 27 年 4 月 1 日現在で奈良市に居住する 18 歳から 39 歳の女性 1,000 人。

(2) 調査方法

郵送により調査票を配布・回収。

(3) 調査時期

平成 27 年 6 月 22 日 (月) ～平成 27 年 7 月 6 日 (月)。

(4) 回収率等

発送数	1,000 票
回収数	440 票
有効回収数	440 票
有効回収率	44.0%

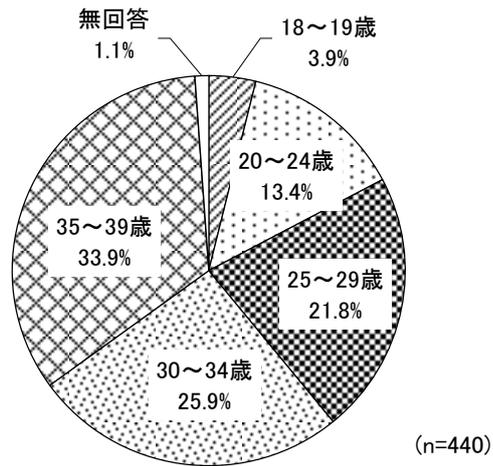
II. 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 年齢(問1)

年齢は、「35～39歳」が33.9%で最も多く、次いで「30～34歳」が25.9%、「25～29歳」が21.8%であり、30歳代が回答者の約6割を占める。

図表 II-1 年齢



(2) 居住小学校区(問2)

居住小学校区は、「伏見」が6.4%で最も多く、次いで「六条」が5.5%、「都跡」「三碓」がそれぞれ5.0%、「東登美ヶ丘」「左京」がそれぞれ3.6%となっている。

図表 II-2 居住小学校区

小学校区	回答数	構成比	小学校区	回答数	構成比
鼓阪	1	0.2%	富雄北	16	3.6%
鼓阪北	10	2.3%	富雄第三	6	1.4%
飛鳥	8	1.8%	二名	11	2.5%
済美	9	2.0%	佐保台	1	0.2%
済美南	9	2.0%	神功	6	1.4%
椿井	9	2.0%	右京	2	0.5%
佐保	11	2.5%	朱雀	5	1.1%
大宮	15	3.4%	左京	16	3.6%
佐保川	8	1.8%	辰市	7	1.6%
大安寺	9	2.0%	明治	12	2.7%
大安寺西	14	3.2%	東市	7	1.6%
都跡	22	5.0%	帯解	4	0.9%
平城	11	2.5%	精華	1	0.2%
伏見	28	6.4%	田原	0	0.0%
伏見南	12	2.7%	柳生	0	0.0%
西大寺北	17	3.9%	興東	1	0.2%
六条	24	5.5%	月ヶ瀬	2	0.5%
あやめ池	14	3.2%	並松	2	0.5%
鶴舞	8	1.8%	都祁	4	0.9%
青和	9	2.0%	吐山	0	0.0%
平城西	3	0.7%	六郷	1	0.2%
登美ヶ丘	9	2.0%	小計	424	96.4%
東登美ヶ丘	16	3.6%	無回答	16	3.6%
鳥見	8	1.8%	合計	440	100.0%
三碓	22	5.0%			
富雄南	14	3.2%			

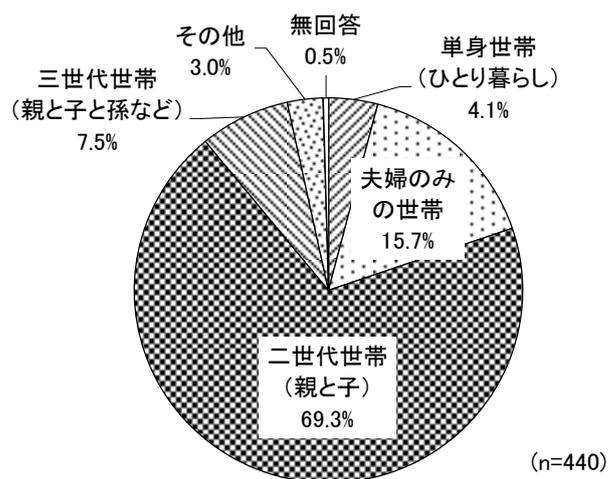
(注)小学校区は、旧精華小学校廃校前の学区に基づいて尋ねた。

(3) 家族構成(問3)

家族構成は、「二世世代世帯（親と子）」が69.3%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が15.7%、「三世世代世帯（親と子と孫など）」が7.5%となっている。

婚姻状態別にみると、未婚者では、「二世世代世帯（親と子）」（69.7%）が約7割を占め、「単身世帯（ひとり暮らし）」（11.0%）は少ない。

図表 II-3 家族構成



		調査数	単身世帯 (ひとり暮らし)	夫婦のみの世帯	二世世代世帯 (親と子)	三世世代世帯 (親と子と孫など)	その他	無回答
全体		440	18	69	305	33	13	2
			4.1	15.7	69.3	7.5	3.0	0.5
年齢	18・19歳	17	0	0	14	3	0	0
		100.0	0.0	0.0	82.4	17.6	0.0	0.0
	20歳代	155	11	27	92	19	5	1
	100.0	7.1	17.4	59.4	12.3	3.2	0.6	
	30歳代	263	7	41	196	11	8	0
	100.0	2.7	15.6	74.5	4.2	3.0	0.0	
婚姻状態	結婚している	283	2	68	196	12	4	1
		100.0	0.7	24.0	69.3	4.2	1.4	0.4
	結婚したことがない	145	16	1	101	20	7	0
	100.0	11.0	0.7	69.7	13.8	4.8	0.0	

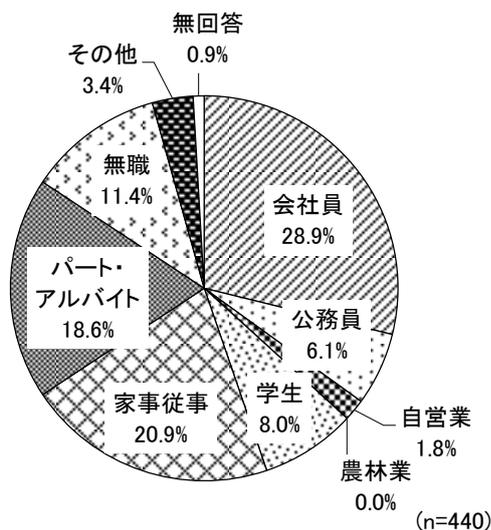
(注) 「全体」を10ポイント以上上回るものを白抜き、5ポイント以上上回るものをグレーの網掛けにしている。また、「全体」を5ポイント以上下回るものを斜体太字にしている。(以下同様)

(4) 職業(問4)

職業は、「会社員」が 28.9%で最も多く、次いで「家事従事」が 20.9%、「パート・アルバイト」が 18.6%となっている。

婚姻状態別にみると、既婚者では、「家事従事」が 31.4%と最も多い。

図表 II-4 職業

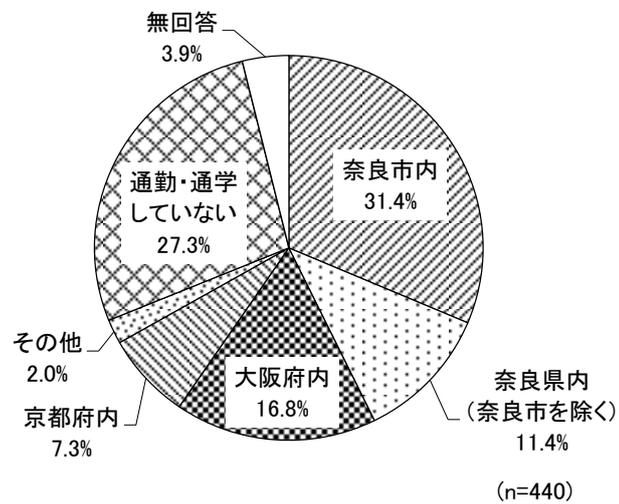


		調査数	会社員	公務員	自営業	農林業	学生	家事従事	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全体		440 100.0	127 28.9	27 6.1	8 1.8	0 0.0	35 8.0	92 20.9	82 18.6	50 11.4	15 3.4	4 0.9
年齢	18・19歳	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 82.4	0 0.0	2 11.8	1 5.9	0 0.0	0 0.0
	20歳代	155 100.0	66 42.6	11 7.1	1 0.6	0 0.0	21 13.5	14 9.0	19 12.3	13 8.4	8 5.2	2 1.3
	30歳代	263 100.0	59 22.4	15 5.7	7 2.7	0 0.0	0 0.0	78 29.7	60 22.8	36 13.7	7 2.7	1 0.4
婚姻状態	結婚している	283 100.0	67 23.7	17 6.0	5 1.8	0 0.0	0 0.0	89 31.4	63 22.3	37 13.1	4 1.4	1 0.4
	結婚したことがない	145 100.0	58 40.0	9 6.2	2 1.4	0 0.0	35 24.1	3 2.1	12 8.3	13 9.0	11 7.6	2 1.4

(5) 職場・通学先(問5)

職場・通学先として最も多いのは「奈良市内」(31.4%)で、次いで多いのは「大阪府内」(16.8%)である。また、「通勤・通学していない」とする回答者も27.3%いる。

図表 II-5 職場・通学先



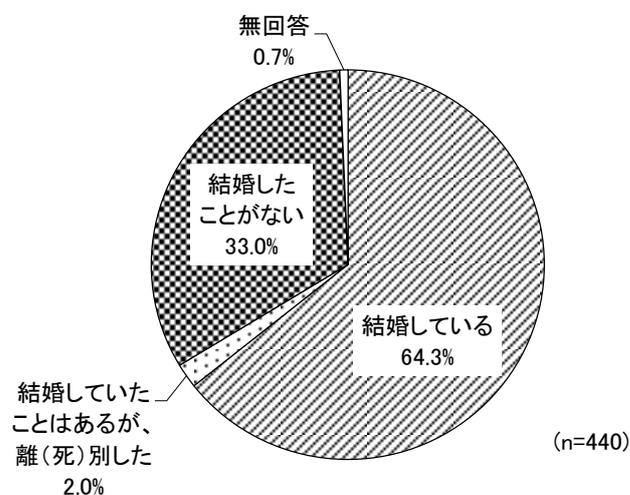
2. 結婚について

(1) 婚姻状態(問6)

婚姻状態については、「結婚している」が 64.3%で最も多く、次いで「結婚したことがない」が 33.0%、「結婚していたことはあるが、離(死)別した」が 2.0%の順となっている。

年齢別にみると、20 歳代前半では「結婚している」回答者は約 1 割であるものの、20 歳代後半では約 5 割、30 歳代前半では約 8 割まで上昇し、30 代後半では約 9 割が結婚している。

図表 II-6 婚姻状態



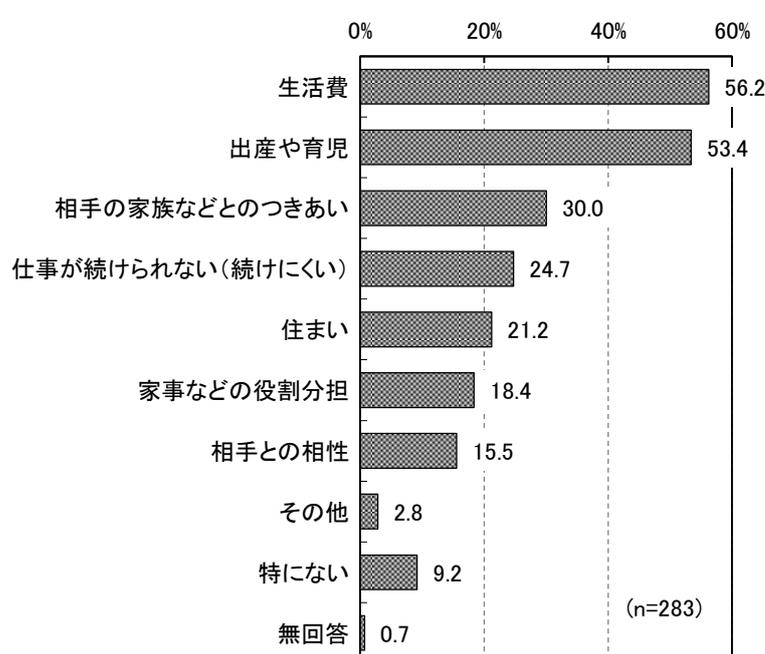
		調査数	結婚している	結婚したことがない	結婚していたことはあるが、離(死)別した	無回答
全体		440	283	145	9	3
		100.0	64.3	33.0	2.0	0.7
年齢	18・19歳	17	0	17	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20～24歳	59	6	53	0	0
		100.0	10.2	89.8	0.0	0.0
	25～29歳	96	51	42	3	0
	100.0	53.1	43.8	3.1	0.0	
30～34歳	114	89	22	2	1	
	100.0	78.1	19.3	1.8	0.9	
35～39歳	149	135	10	3	1	
	100.0	90.6	6.7	2.0	0.7	

(2) 結婚生活を続ける場合の心配や不安(問7・既婚者対象)

結婚している回答者が結婚生活を続ける場合の心配や不安は、「生活費」が 56.2%、「出産や育児」が 53.4%でともに多く、次いで「相手の家族などとのつきあい」が 30.0%となっている。

20 歳代と 30 歳代を比較すると、「生活費」、「相手の家族などとの付き合い」、「住まい」など、生活に関連する項目では 20 歳代で回答が多く、「仕事が続けられない(続けにくい)」や「相手との相性」など、20 歳代で多いものとは異なる要素の項目への回答では 30 歳代が多くなっている。

図表 II-7 結婚を続ける場合の心配や不安(複数回答)



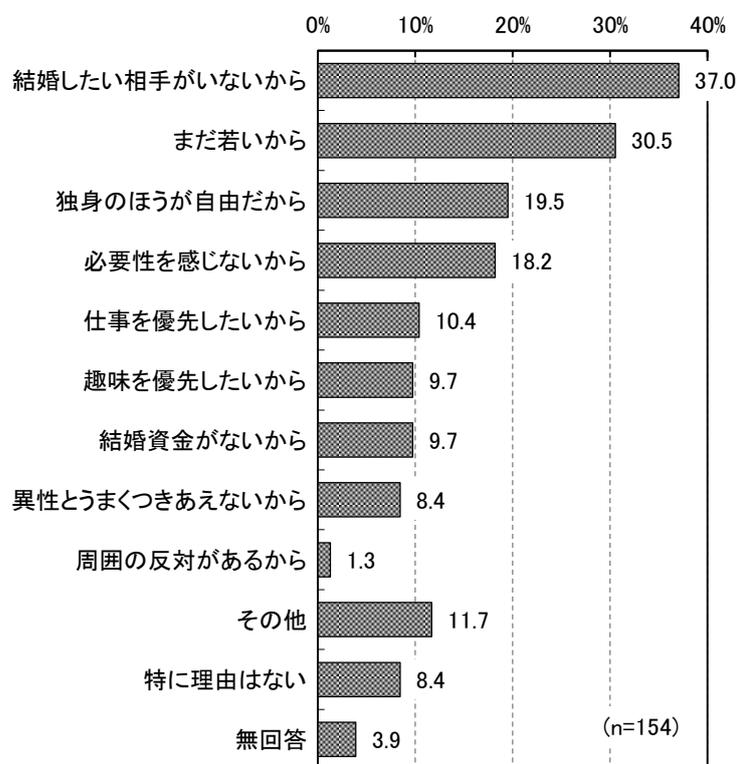
		調査数	(仕事 続けが に続け られない)	相手 の家族 など との つき あい	生活 費	住 まい	家 事 な ど の 役 割 分 担	出 産 や 育 児	相 手 と の 相 性	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		283 100.0	70 24.7	85 30.0	159 56.2	60 21.2	52 18.4	151 53.4	44 15.5	8 2.8	26 9.2	2 0.7
年齢	18・19歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	57 100.0	11 19.3	25 43.9	38 66.7	17 29.8	11 19.3	34 59.6	4 7.0	1 1.8	3 5.3	1 1.8
	30歳代	224 100.0	59 26.3	59 26.3	120 53.6	41 18.3	41 18.3	116 51.8	40 17.9	7 3.1	23 10.3	1 0.4

(3) 結婚(再婚)をしない(したくない)理由(問8・非婚者対象)

結婚していない回答者が結婚(再婚)をしない(したくない)理由については、「結婚したい相手がないから」が37.0%で最も多く、次いで「まだ若いから」が30.5%となっている。その他、「独身のほうが自由だから」(19.5%)、「必要性を感じないから」(18.2%)も比較的多い。

年齢別にみると、30歳代では「独身のほうが自由だから」(32.4%)や「必要性を感じないから」(24.3%)への回答が比較的多くなっている。

図表 II-8 結婚(再婚)をしない(したくない)理由(複数回答)



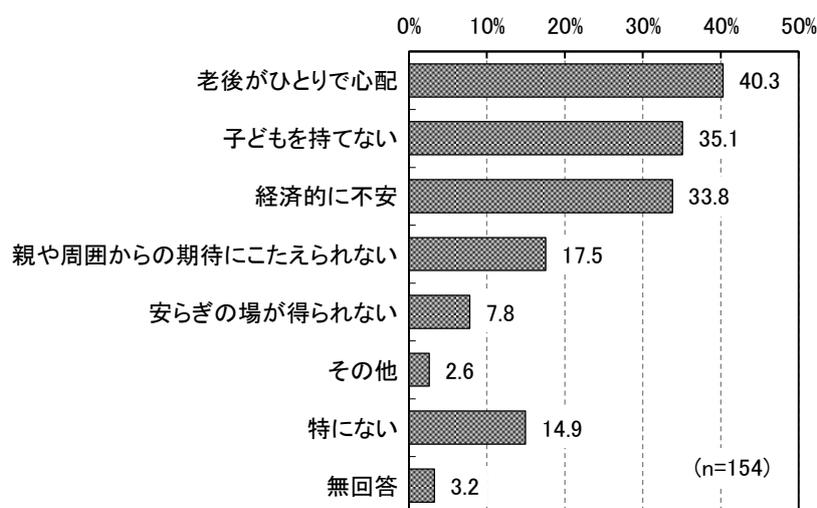
	調査数	まだ若いから	必要性を感じないから	仕事を優先したいから	趣味を優先したいから	独身のほうが自由だから	結婚したい相手がないから	異性とうまくつきあえないから	結婚資金がないから	周囲の反対があるから	その他	特に理由はない	無回答
全体	154	47	28	16	15	30	57	13	15	2	18	13	6
	100.0	30.5	18.2	10.4	9.7	19.5	37.0	8.4	9.7	1.3	11.7	8.4	3.9
年齢	18・19歳	17	13	2	1	0	1	1	0	0	1	1	0
		100.0	76.5	11.8	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0
	20歳代	98	34	16	15	12	15	40	6	13	1	6	7
	100.0	34.7	16.3	15.3	12.2	15.3	40.8	6.1	13.3	1.0	6.1	7.1	5.1
	37	0	9	0	2	12	14	6	2	1	11	5	1
	100.0	0.0	24.3	0.0	5.4	32.4	37.8	16.2	5.4	2.7	29.7	13.5	2.7

(4) 独身生活を続ける場合の心配や不安(問9・非婚者対象)

結婚していない回答者が独身生活を続ける場合の心配や不安は、「老後がひとりで心配」が40.3%で最も多く、次いで「子どもを持ってない」が35.1%、「経済的に不安」が33.8%となっている。

20歳代と30歳代を比較すると、「子どもを持ってない」や「親や周囲からの期待にこたえられない」では20歳代の回答が多くなっており、「老後がひとりで心配」や「経済的に不安」では30歳代の回答が多くなっている。

図表 II-9 独身生活を続ける場合の心配や不安(複数回答)



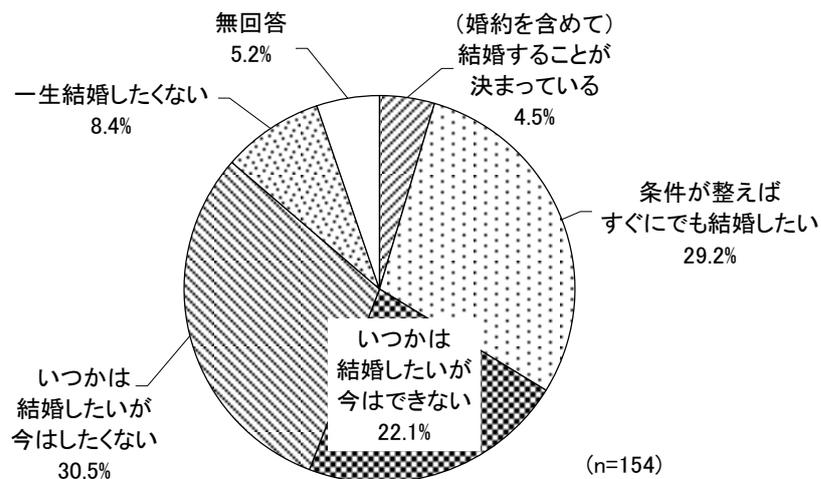
		調査数	子どもを持ってない	老後がひとりで心配	安らぎの場が得られない	経済的に不安	親や周囲からの期待にこたえられない	その他	特にない	無回答
全体		154	54	62	12	52	27	4	23	5
		100.0	35.1	40.3	7.8	33.8	17.5	2.6	14.9	3.2
年齢	18・19歳	17	4	6	4	5	0	0	6	0
		100.0	23.5	35.3	23.5	29.4	0.0	0.0	35.3	0.0
	20歳代	98	39	37	5	30	21	2	11	4
	100.0	39.8	37.8	5.1	30.6	21.4	2.0	11.2	4.1	
	30歳代	37	10	18	3	16	5	2	6	1
	100.0	27.0	48.6	8.1	43.2	13.5	5.4	16.2	2.7	

(5) 結婚に関する意向(問 10・非婚者対象)

結婚していない回答者の今後の結婚(再婚)に関する意向については、「いつかは結婚したいが今はしたくない」が30.5%で最も多く、次いで「条件を整えばすぐにでも結婚したい」が29.2%、「いつかは結婚したいが今はできない」が22.1%となっており、約9割が結婚する意向を持っている。

年齢別にみると、30歳代では「条件を整えばすぐにでも結婚したい」(35.1%)が多く、30歳代になると、結婚を急ぐ意識が強くなることが推察される。

図表 II-10 結婚に関する意向



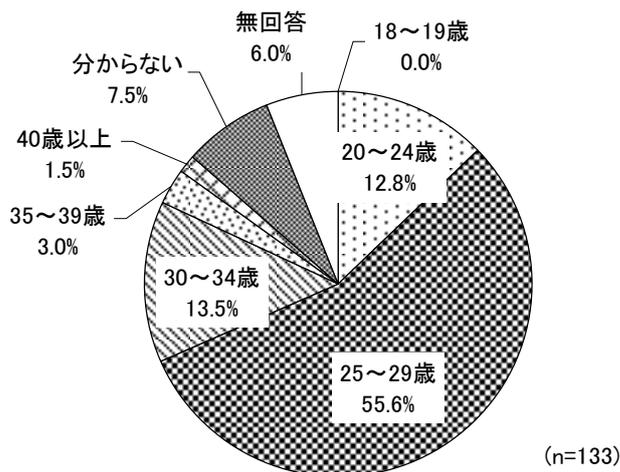
		調査数	結婚(婚約を含めて)決まった	条件を整えばすぐに	いつかは結婚したい	いつかは結婚したい	一生結婚したくない	無回答
全体		154	7	45	34	47	13	8
		100.0	4.5	29.2	22.1	30.5	8.4	5.2
年齢	18・19歳	17	0	2	6	7	2	0
		100.0	0.0	11.8	35.3	41.2	11.8	0.0
	20歳代	98	6	29	21	34	3	5
	100.0	6.1	29.6	21.4	34.7	3.1	5.1	
	30歳代	37	1	13	7	6	7	3
	100.0	2.7	35.1	18.9	16.2	18.9	8.1	

(6) 希望初婚年齢(問 11・非婚者のうち未婚の回答者対象)

結婚の意向を持つ回答者が初めての結婚をしたい年齢は、「25～29歳」が55.6%で全体の約6割を占め、次いで「30～34歳」が13.5%、「20～24歳」が12.8%となっている。

年齢別にみると、20歳代では「25～29歳」が約7割であり、20歳代のうちに結婚したいと考えている回答者が多いことが推察される。

図表 II-11 希望初婚年齢



		調査数	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳以上	分からない	無回答
全体		133	0	17	74	18	4	2	10	8		
		100.0	0.0	12.8	55.6	13.5	3.0	1.5	7.5	6.0		
年齢	18・19歳	15	0	5	7	0	0	0	3	0		
		100.0	0.0	33.3	46.7	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0		
	20歳代	90	0	11	59	12	1	0	5	2		
	100.0	0.0	12.2	65.6	13.3	1.1	0.0	5.6	2.2			
	30歳代	27	0	1	7	6	3	2	2	6		
	100.0	0.0	3.7	25.9	22.2	11.1	7.4	7.4	22.2			

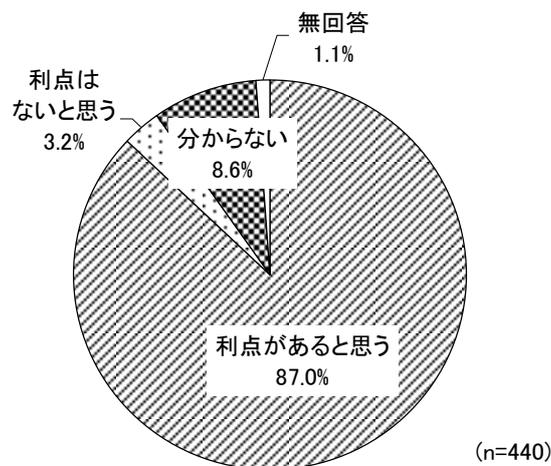
(7) 結婚生活における独身生活にはない利点の有無(問 12)

結婚生活における独身生活にはない利点の有無については、回答者の約9割が「利点があると思う」としている。

年齢別にみると「利点があると思う」への回答は、年代が上がるにつれて多くなっている。

婚姻状態別にみると、「利点があると思う」への回答は既婚者のほうが多い。また、未婚者では「わからない」への回答が多くなっている。

図表 II-12 結婚生活における独身生活にはない利点の有無



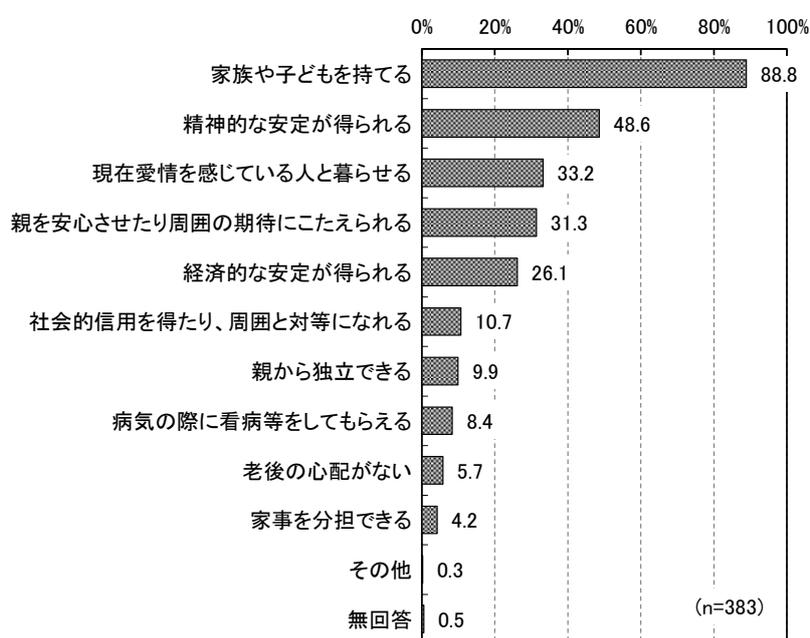
		調査数	利点があると思う	利点はないと思う	分らない	無回答
全体		440	383	14	38	5
		100.0	87.0	3.2	8.6	1.1
年齢	18・19歳	17	7	3	7	0
		100.0	41.2	17.6	41.2	0.0
	20歳代	155	135	3	16	1
	100.0	87.1	1.9	10.3	0.6	
	30歳代	263	238	7	15	3
	100.0	90.5	2.7	5.7	1.1	
婚姻状態	結婚している	283	268	6	7	2
		100.0	94.7	2.1	2.5	0.7
	結婚していない	145	108	7	28	2
	100.0	74.5	4.8	19.3	1.4	

(8) 結婚生活の具体的な利点(問 13)

結婚生活の具体的な利点については、「家族や子どもを持てる」が 88.8%と突出しており、次いで「精神的な安定が得られる」が 48.6%、「現在愛情を感じている人と暮らせる」が 33.2%となっている。また、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」とする回答者も約3割にのぼる。

20歳代と30歳代を比較すると、「親から独立できる」や「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」といった親との関係に関する項目では20歳代の回答が多く、「精神的な安定が得られる」や「社会的信用を得たり、周囲と対等になれる」といった自身の精神面や社会的立場の安定に関する項目では30歳代の回答が多くなっている。

図表 II-13 結婚生活の具体的な利点(複数回答)



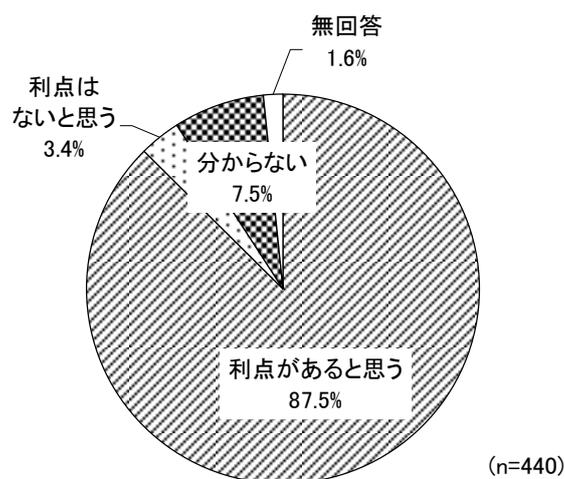
	調査数	精神的な安定が得られる	家族や子どもを持てる	経済的な安定が得られる	病気の際に看病等してもらえる	家事を分担できる	老後の心配がない	社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	現在愛情を感じている人と暮らせる	親から独立できる	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	その他	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	383	48.6	88.8	26.1	8.4	4.2	5.7	10.7	33.2	9.9	31.3	0.3	0.5
年齢	18・19歳	7	0	7	3	0	1	0	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	100.0	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	20歳代	135	50	120	35	8	9	9	10	42	17	47	1
	100.0	37.0	88.9	25.9	5.9	6.7	6.7	7.4	31.1	12.6	34.8	0.7	0.0
30歳代	238	134	210	62	22	7	12	31	82	21	71	0	2
	100.0	56.3	88.2	26.1	9.2	2.9	5.0	13.0	34.5	8.8	29.8	0.0	0.8
婚姻状態	結婚している	268	150	243	67	20	11	32	103	25	83	1	2
		100.0	56.0	90.7	25.0	7.5	3.7	4.1	38.4	9.3	31.0	0.4	0.7
結婚していない	108	31	94	27	12	6	10	9	23	12	36	0	0
	100.0	28.7	87.0	25.0	11.1	5.6	9.3	8.3	21.3	11.1	33.3	0.0	0.0

(9) 独身生活における結婚生活にはない利点の有無(問 14)

独身生活における結婚生活にはない利点の有無については、回答者の約9割が「利点があると思う」としている。

年齢別にみると、「利点があると思う」とする回答は年齢が上がるにつれて多くなっている。また、婚姻状態別にみると、「利点があると思う」とする回答は、既婚者のほうがやや多くなっている。

図表 II-14 独身生活における結婚生活にはない利点の有無



		調査数	利点があると思う	利点はないと思う	分からない	無回答
全体		440	385	15	33	7
		100.0	87.5	3.4	7.5	1.6
年齢	18・19歳	17	10	1	6	0
		100.0	58.8	5.9	35.3	0.0
	20歳代	155	135	6	13	1
	100.0	87.1	3.9	8.4	0.6	
	30歳代	263	238	7	13	5
	100.0	90.5	2.7	4.9	1.9	
婚姻状態	結婚している	283	256	7	14	6
		100.0	90.5	2.5	4.9	2.1
	結婚したことがない	145	121	5	19	0
	100.0	83.4	3.4	13.1	0.0	

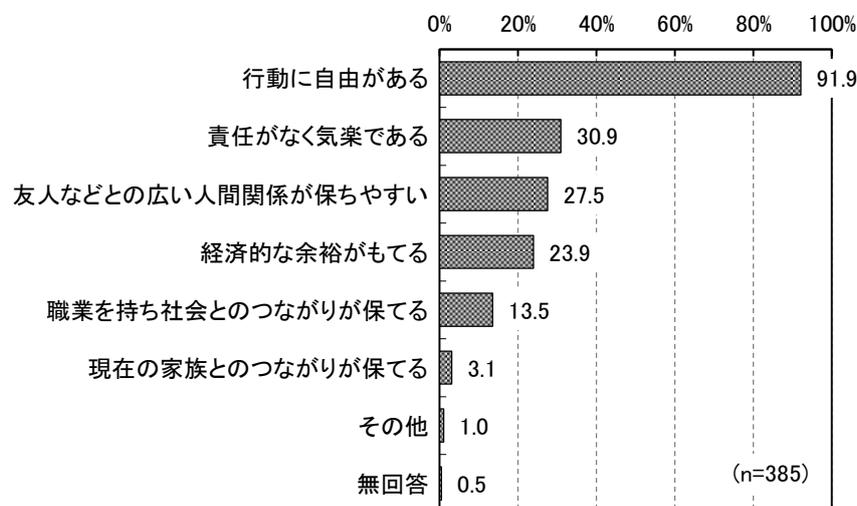
(10) 独身生活の具体的な利点(問 15)

独身生活の具体的な利点については、「行動に自由がある」が 91.9%と突出しており、次いで多いのは、「責任がなく気楽である」(30.9%)、「友人などとの広い人間関係が保ちやすい」(27.5%)「経済的な余裕がもてる」(23.9%)である。

20歳代と30歳代を比較すると、「職業を持ち社会とのつながりが保てる」では30歳代の回答が多くなっている。

既婚者と未婚者を比較すると、「職業を持ち社会とのつながりが保てる」、「友人などとの広い人間関係が保ちやすい」、「経済的な余裕がもてる」では既婚者の回答が多く、「責任がなく気楽である」では未婚者の回答が多い。

図表 II-15 独身生活の具体的な利点(複数回答)



		調査数	行動に自由がある	職業を持ち社会とのつながりが保てる	友人などとの広い人間関係が保ちやすい	現在の家族とのつながりが保てる	経済的な余裕がもてる	責任がなく気楽である	その他	無回答
全体		385	354	52	106	12	92	119	4	2
		100.0	91.9	13.5	27.5	3.1	23.9	30.9	1.0	0.5
年齢	18・19歳	10	9	1	1	1	2	3	0	0
		100.0	90.0	10.0	10.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0
	20歳代	135	123	12	41	5	31	38	3	1
	100.0	91.1	8.9	30.4	3.7	23.0	28.1	2.2	0.7	
	30歳代	238	220	39	64	6	57	78	1	1
	100.0	92.4	16.4	26.9	2.5	23.9	32.8	0.4	0.4	
婚姻状態	結婚している	256	237	41	79	6	67	75	2	1
		100.0	92.6	16.0	30.9	2.3	26.2	29.3	0.8	0.4
	結婚したことがない	121	110	10	25	6	23	40	2	1
	100.0	90.9	8.3	20.7	5.0	19.0	33.1	1.7	0.8	

(11) あると結婚(再婚)しやすくなると思う支援(問 16)

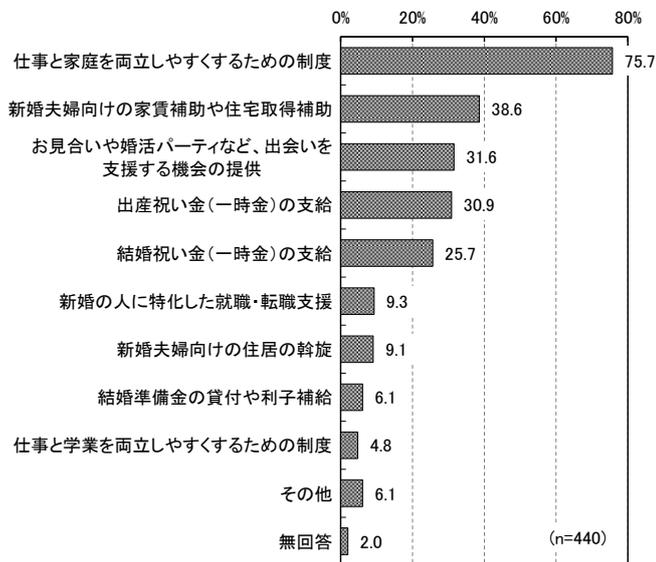
あると結婚(再婚)しやすくなると思う支援については、「仕事と家庭を両立しやすくするための制度」が約8割と突出している。

次いで多いのは、「新婚夫婦向けの家賃補助や住宅取得補助」(38.6%)、「出産祝い金(一時金)の支給」(30.9%)、「結婚祝い金(一時金)の支給」(25.7%)などの経済的支援や、「お見合いや婚活パーティなど、出会いを支援する機会の提供」(31.6%)である。

20歳代と30歳代を比較すると、「出産祝い金(一時金)の支給」や「結婚祝い金(一時金)の支給」など、節目での経済的支援に関する項目では20歳代の回答が多いが、「新婚夫婦向けの家賃補助や住宅取得補助」では30歳代の回答が多い。

「お見合いや婚活パーティなど、出会いを支援する機会の提供」については、既婚者と未婚者を比較しても、傾向は大きく変わらない。

図表 II-16 あると結婚(再婚)しやすくなると思う支援(複数回答)



	調査数	お見合いや婚活パーティなど、出会いを支援する機会	新婚夫婦向けの住居の斡旋	新婚夫婦向けの家賃補助や住宅取得補助	結婚準備金の貸付や利子補給	結婚祝い金(一時金)の支給	出産祝い金(一時金)の支給	新婚の人に特化した就職・転職支援	仕事と家庭を両立しやすくするための制度	仕事と学業を両立しやすくするための制度	その他	無回答	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
全体	440	31.6	9.1	38.6	6.1	25.7	30.9	9.3	75.7	4.8	6.1	2.0	
年齢	18・19歳	17	0	6	2	3	4	2	12	3	1	0	
		100.0	17.6	0.0	35.3	11.8	17.6	23.5	11.8	70.6	17.6	5.9	0.0
	20歳代	155	47	16	52	14	50	60	22	116	5	6	3
	100.0	30.3	10.3	33.5	9.0	32.3	38.7	14.2	74.8	3.2	3.9	1.9	
30歳代	263	87	24	109	10	60	72	17	201	13	20	5	
	100.0	33.1	9.1	41.4	3.8	22.8	27.4	6.5	76.4	4.9	7.6	1.9	
婚姻状態	結婚している	283	90	25	117	16	77	97	19	221	12	17	3
		100.0	31.8	8.8	41.3	5.7	27.2	34.3	6.7	78.1	4.2	6.0	1.1
結婚していない	145	47	13	48	11	32	34	21	104	8	10	5	
	100.0	32.4	9.0	33.1	7.6	22.1	23.4	14.5	71.7	5.5	6.9	3.4	

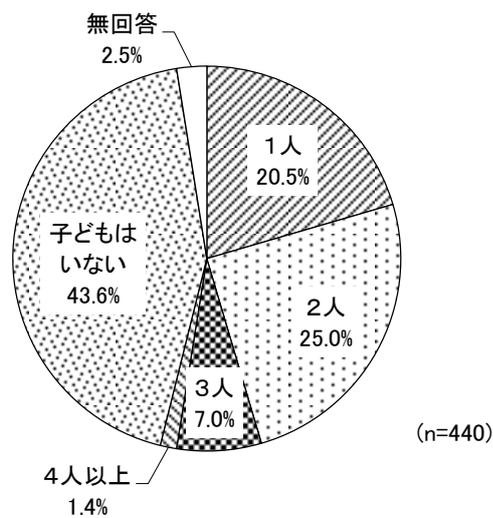
3. 出産について

(1) 現在の子どもの数(問 17)

現在の子どもの数を尋ねたところ、約4割の回答者が「子どもはいない」としている。子どもがいる場合は、「2人」が25.0%で最も多く、次いで多いのが「1人」(20.5%)である。

年齢別にみると、20歳代では約7割に子どもがおらず、30歳代でも約2割に子どもがいない。

図表 II-17 現在の子どもの数



		調査数	1人	2人	3人	4人以上	子どもはいない	無回答
全体		440	90	110	31	6	192	11
		100.0	20.5	25.0	7.0	1.4	43.6	2.5
年齢	18・19歳	17	0	0	0	0	17	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代	155	25	10	3	1	110	6
	100.0	16.1	6.5	1.9	0.6	71.0	3.9	
	30歳代	263	65	98	28	5	63	4
	100.0	24.7	37.3	10.6	1.9	24.0	1.5	

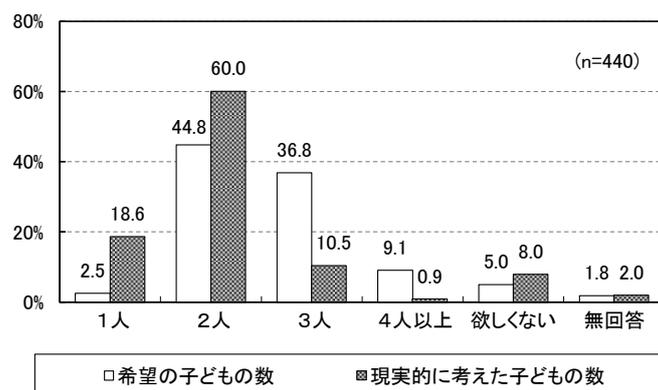
(2) 希望の子どもの数と現実的に考えた子どもの数(問 18・問 19)

希望の子どもの数は、「2人」が 44.8%で最も多く、次いで「3人」が 36.8%、「4人以上」が 9.1%となっており、複数の子どもの希望する回答者が多い。

一方、現実的に考えた子どもの人数では、「2人」が 60.0%で最も多いが、次いで多いのは「1人」(18.6%)となっている。

年齢別、婚姻状態別に比較すると、希望の子どもの数、現実的に考えた子どもの数とも、「3人」や「4人以上」とする回答者は、30歳代と既婚者で多くなっている。

図表 II-18 希望の子どもの数と現実的に考えた子どもの数



[希望の子どもの数]

		調査数	1人	2人	3人	4人以上	欲しくない	無回答
全体		440	11	197	162	40	22	8
		100.0	2.5	44.8	36.8	9.1	5.0	1.8
年齢	18・19歳	17	1	7	5	2	2	0
		100.0	5.9	41.2	29.4	11.8	11.8	0.0
	20歳代	155	1	82	53	9	7	3
	100.0	0.6	52.9	34.2	5.8	4.5	1.9	
	30歳代	263	9	105	103	29	13	4
	100.0	3.4	39.9	39.2	11.0	4.9	1.5	
婚姻状態	結婚している	283	8	117	120	33	4	1
		100.0	2.8	41.3	42.4	11.7	1.4	0.4
	結婚したことがない	145	3	77	37	6	17	5
	100.0	2.1	53.1	25.5	4.1	11.7	3.4	

[現実的に考えた子どもの数]

		調査数	1人	2人	3人	4人以上	欲しくない	無回答
全体		440	82	264	46	4	35	9
		100.0	18.6	60.0	10.5	0.9	8.0	2.0
年齢	18・19歳	17	2	12	0	0	3	0
		100.0	11.8	70.6	0.0	0.0	17.6	0.0
	20歳代	155	34	90	16	1	11	3
	100.0	21.9	58.1	10.3	0.6	7.1	1.9	
	30歳代	263	45	159	30	3	21	5
	100.0	17.1	60.5	11.4	1.1	8.0	1.9	
婚姻状態	結婚している	283	46	181	42	3	10	1
		100.0	16.3	64.0	14.8	1.1	3.5	0.4
	結婚したことがない	145	34	77	4	1	23	6
	100.0	23.4	53.1	2.8	0.7	15.9	4.1	

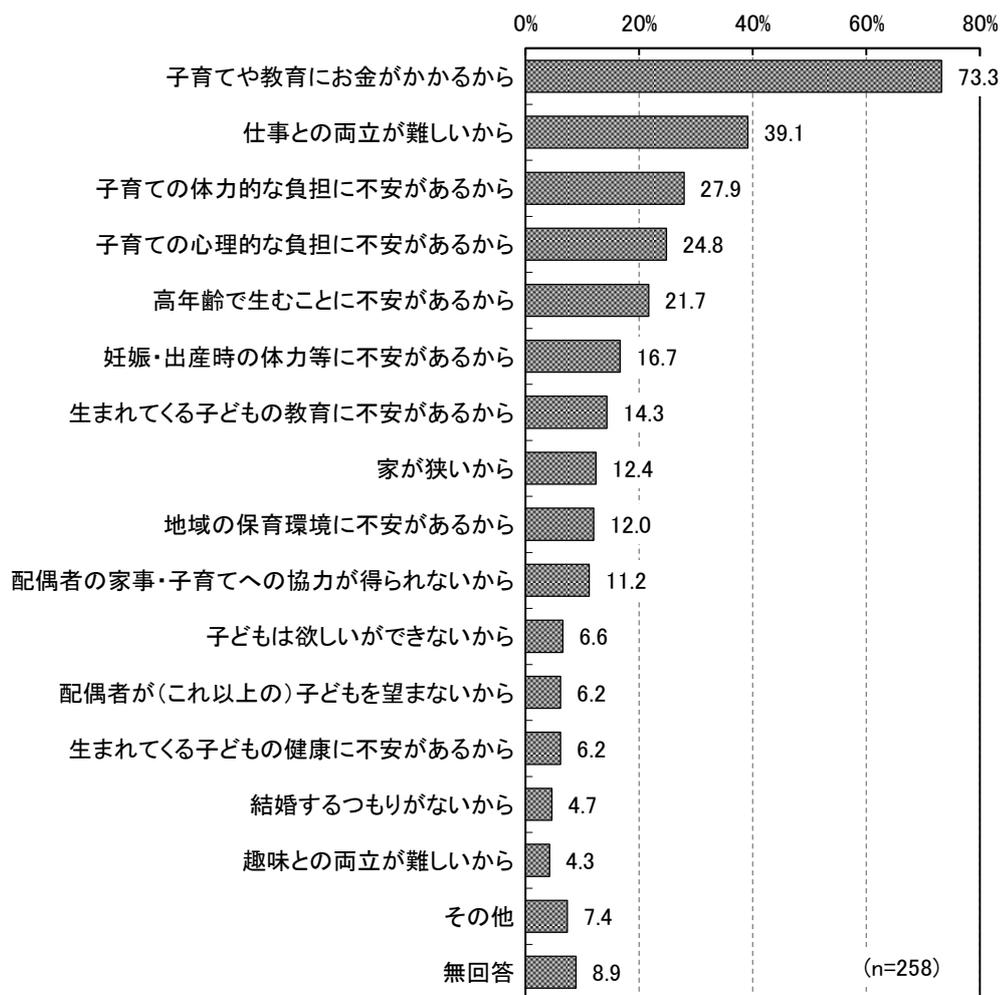
(1) 子どもが欲しくない、または「現実的に考えた子どもの数」が「希望の子どもの数」よりも少なくなる理由(問 20)

子どもが欲しくない、または「現実的に考えた子どもの数」が「希望の子どもの数」よりも少なくなる理由は、「子育てや教育にお金がかかるから」が 73.3%で圧倒的に多く、次いで「仕事との両立が難しいから」が 39.1%となっている。

また、「子育ての体力的な負担に不安があるから」(27.9%)や「子育ての心理的な負担に不安があるから」(24.8%)も比較的多い。

20 歳代と 30 歳代を比較すると、「子育てや教育にお金がかかるから」や「仕事との両立が難しいから」では 20 歳代の回答が多く、「子育ての体力的な負担に不安があるから」、「高年齢で生むことに不安があるから」、「妊娠・出産時の体力等に不安があるから」では 30 歳代の回答が多くなっている。

図表 II-19 子どもが欲しくない、または「現実的に考えた子どもの数」が「希望の子どもの数」よりも少なくなる理由(複数回答)



	調査数	子育てや教育にお金がかか	家が狭いから	仕事との両立が難しいから	趣味との両立が難しいから	高年齢で生むことに不安があるから	子育ての心理的な負担に不安があるから	子育ての体力的な負担に不安があるから	子どもは欲しいができないから	
全体	258 100.0	189 73.3	32 12.4	101 39.1	11 4.3	56 21.7	64 24.8	72 27.9	17 6.6	
年齢	18・19歳	11 100.0	7 63.6	1 9.1	7 63.6	1 9.1	0 0.0	4 36.4	3 27.3	0 0.0
	20歳代	89 100.0	75 84.3	11 12.4	40 44.9	6 6.7	9 10.1	18 20.2	15 16.9	3 3.4
	30歳代	156 100.0	106 67.9	20 12.8	53 34.0	4 2.6	47 30.1	41 26.3	53 34.0	14 9.0
婚姻状態	結婚している	160 100.0	116 72.5	26 16.3	59 36.9	2 1.3	42 26.3	40 25.0	47 29.4	15 9.4
	結婚したことがない	90 100.0	66 73.3	6 6.7	37 41.1	8 8.9	13 14.4	22 24.4	24 26.7	2 2.2

	安妊協配どるに生に生結婚その他無回答 がある・出産からの体力等に不安があるから	協配偶力者の得られないからへの	ども配偶者を望まないからの子	る地域の保育環境に不安がある	に生まれてくる子どもの教育	に生まれてくる子どもの健康	結婚するつもりがないから	その他	無回答	
全体	43 16.7	29 11.2	16 6.2	31 12.0	37 14.3	16 6.2	12 4.7	19 7.4	23 8.9	
年齢	18・19歳	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	2 18.2	1 9.1
	20歳代	4 4.5	6 6.7	1 1.1	12 13.5	10 11.2	2 2.2	3 3.4	4 4.5	8 9.0
	30歳代	37 23.7	22 14.1	15 9.6	19 12.2	26 16.7	13 8.3	7 4.5	13 8.3	14 9.0
婚姻状態	結婚している	33 20.6	25 15.6	16 10.0	20 12.5	25 15.6	12 7.5	0 0.0	8 5.0	18 11.3
	結婚したことがない	10 11.1	2 2.2	0 0.0	9 10.0	10 11.1	4 4.4	12 13.3	11 12.2	5 5.6

(2) 希望の数まで子どもをもつために必要と思われる支援(問 21)

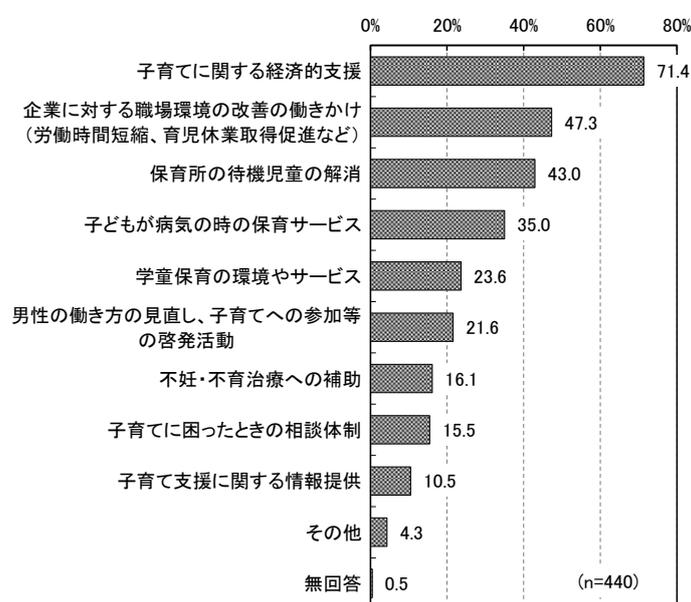
希望の数まで子どもをもつために必要と思われる支援は、「子育てに関する経済的支援」が71.4%で最も多い。

次いで、「企業に対する職場環境の改善の働きかけ（労働時間短縮、育児休業取得促進など）」（47.3%）、「保育所の待機児童の解消」（43.0%）、「子どもが病気の時の保育サービス」（35.0%）など、仕事と子育ての両立に関する項目が多くなっている。

20歳代と30歳代を比較すると、「子育てに関する経済的支援」では20歳代の回答が多く、「不妊・不育治療への補助」では30歳代の回答が多くなっている。

婚姻状態別に比較すると、「子どもが病気の時の保育サービス」では既婚者の回答が多くなっている。

図表 II-20 希望の数の子どもをもつために必要と思われる支援(複数回答)



	調査数	相談体制に困ったときの	子育てに関する情報提供	子育てに関する経済的支援	保育所の待機児童の解消	子どもが病気の時の保育サービス	学童保育の環境やサービス	働きかけ(労働時間短縮、育児休業取得促進など)	企業に対する職場環境の改善	男性の働き方の見直し、子育てへの参加等の啓発活動	不妊・不育治療への補助	その他	無回答
全体	440	68	46	314	189	154	104	208	95	71	19	2	
	100.0	15.5	10.5	71.4	43.0	35.0	23.6	47.3	21.6	16.1	4.3	0.5	
年齢	18・19歳	17	5	12	6	3	2	8	6	0	1	0	
		100.0	29.4	5.9	70.6	35.3	17.6	11.8	47.1	35.3	0.0	5.9	0.0
	20歳代	155	19	18	120	74	56	34	79	30	17	5	0
	100.0	12.3	11.6	77.4	47.7	36.1	21.9	51.0	19.4	11.0	3.2	0.0	
30歳代	263	43	26	179	108	94	68	119	57	54	12	1	
	100.0	16.3	9.9	68.1	41.1	35.7	25.9	45.2	21.7	20.5	4.6	0.4	
婚姻状態	結婚している	283	44	28	204	115	109	71	136	59	55	13	1
		100.0	15.5	9.9	72.1	40.6	38.5	25.1	48.1	20.8	19.4	4.6	0.4
結婚していない	145	21	17	102	67	40	32	67	33	16	6	0	
	100.0	14.5	11.7	70.3	46.2	27.6	22.1	46.2	22.8	11.0	4.1	0.0	

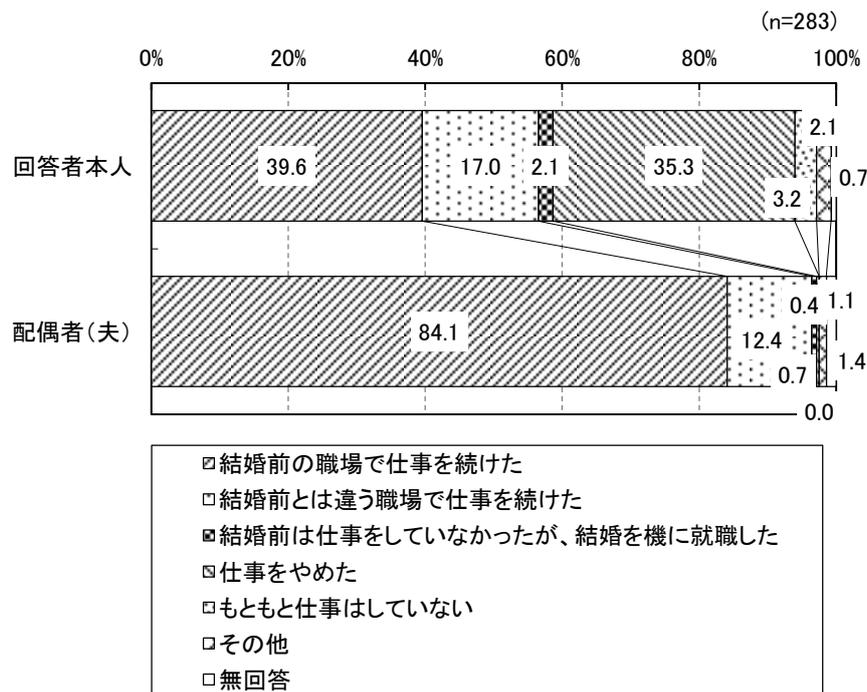
4. 仕事との両立について

(1) 結婚前後の仕事の状況(問 22・既婚者対象)

結婚前後での仕事の状況の変化について、回答者本人で最も多いのは「結婚前の職場で仕事を続けた」(39.6%)であるが、一方で「仕事をやめた」も35.3%となっている。

一方、配偶者(夫)では、「結婚前の職場で仕事を続けた」が84.1%で最も多く、回答者本人(女性)を44.5ポイント上回っている。

図表 II-21 結婚前後の仕事の状況

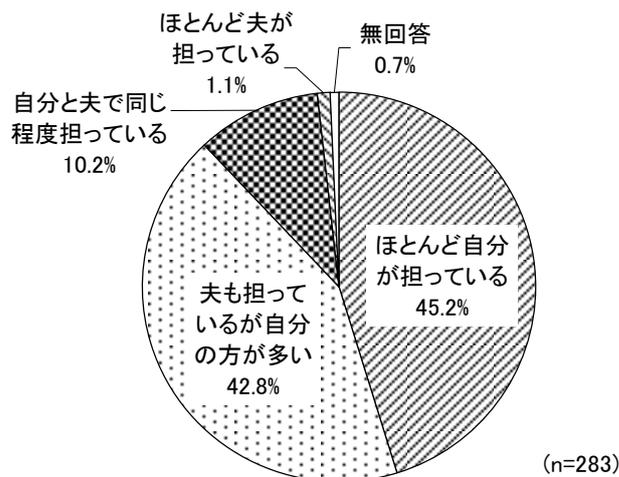


(2) 家事や子育ての分担(問 23・既婚者対象)

家庭での家事や子育ての分担は、「ほとんど自分が担っている」が 45.2%、次いで「夫も担っているが自分の方が多し」が 42.8%である一方で、「ほとんど夫が担っている」は 1.1%にとどまっている。

20 歳代と 30 歳代を比較すると、「ほとんど自分が担っている」は 30 歳代で多く、「自分と夫で同じ程度担っている」は 20 歳代が多い。

図表 II-22 家事や子育ての分担

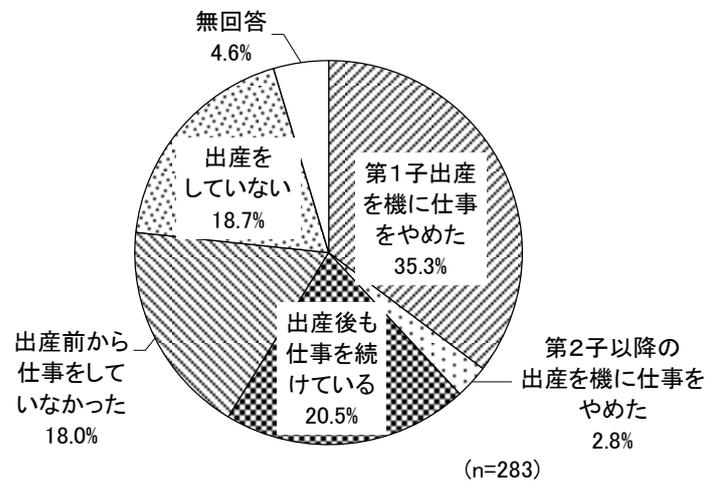


		調査数	ほとんど自分が担っている	夫も担っているが自分の方が多し	自分と夫で同じ程度担っている	ほとんど夫が担っている	無回答
全体		283 100.0	128 45.2	121 42.8	29 10.2	3 1.1	2 0.7
年齢	18・19歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	57 100.0	21 36.8	25 43.9	10 17.5	1 1.8	0 0.0
	30歳代	224 100.0	105 46.9	96 42.9	19 8.5	2 0.9	2 0.9

(3) 出産を機に仕事をやめた経験の有無(問 24・既婚者対象)

出産を機に仕事をやめた経験の有無については、「第1子出産を機に仕事をやめた」が35.3%で最も多く、「出産後も仕事を続けている」(20.5%)回答者を上回っている。

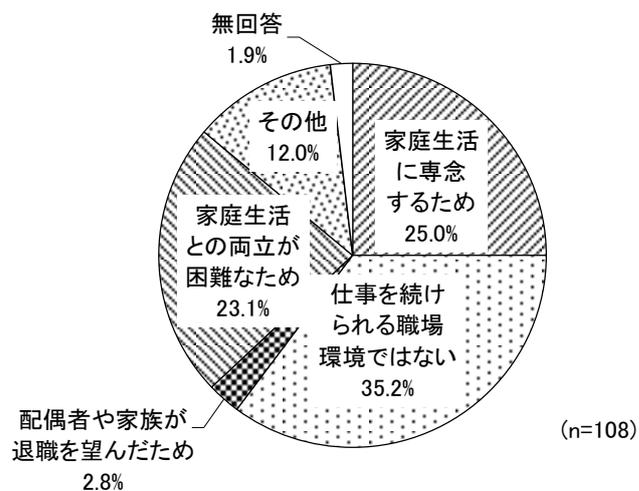
図表 II-23 出産を機に仕事をやめた経験の有無



(4) 出産を機に仕事をやめた理由(問 25・既婚者対象)

出産を機に仕事をやめた理由については、「仕事を続けられる職場環境ではない」が35.2%で最も多く、次いで「家庭生活に専念するため」が25.0%、「家庭生活との両立が困難なため」が23.1%となっている。

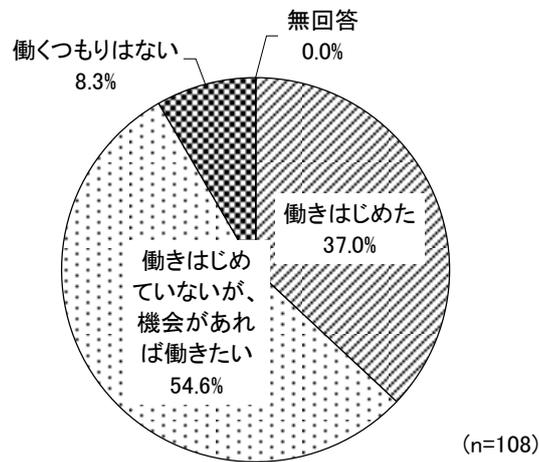
図表 II-24 出産を機に仕事をやめた理由



(5) 出産後の仕事再開の状況(問 26・既婚者対象)

出産を機に仕事をやめた回答者に出産後の仕事再開の状況を尋ねたところ、「働きはじめた」とする回答者は 37.0%にとどまっているが、「働きはじめていないが、機会があれば働きたい」とする回答者は半数を超えている。

図表 II-25 出産後の仕事再開の状況



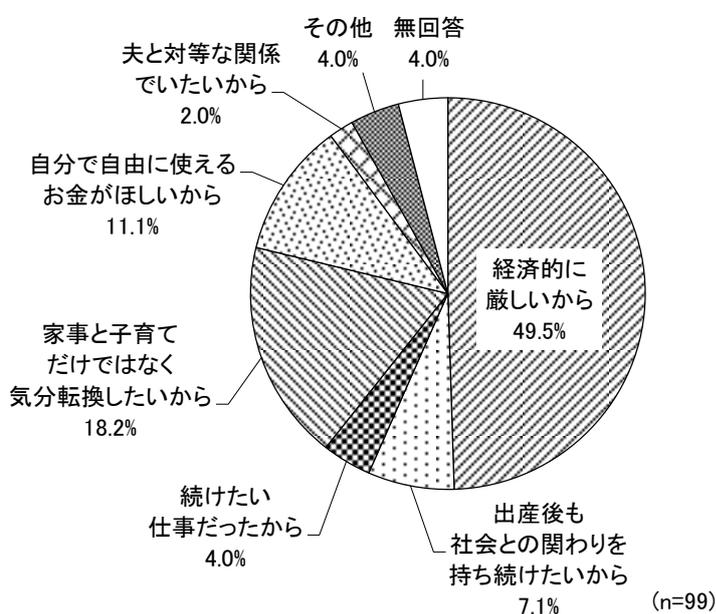
(6) 仕事を再開する理由(問 27・既婚者対象)

出産を機に仕事をやめた後、また働きはじめた（もしくは、機会があれば働きたいと思っている）理由については、「経済的に厳しいから」が 49.5%で最も多く、約半数を占める。

次いで多いのは、「家事と子育てだけではなく気分転換したいから」（18.2%）、「自分で自由に使えるお金がほしいから」（11.1%）である。

20 歳代と 30 歳代を比較すると、「経済的に厳しいから」は 20 歳代が多く、30 歳代では「家事と子育てだけではなく気分転換したいから」がやや多い。

図表 II-26 仕事を再開する理由



		調査数	経済的に厳しいから	かわり出産後も持ち続けたい	か続けたい仕事だった	いかなる気分転換した	家事と子育てで	お自分で自由に使える	夫と対等な関係で	その他	無回答
全体		99	49	7	4	18	11	2	4	4	
		100.0	49.5	7.1	4.0	18.2	11.1	2.0	4.0	4.0	
年齢	18・19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	20	14	1	1	2	2	0	0	0	
	100.0	70.0	5.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
	30歳代	79	35	6	3	16	9	2	4	4	
	100.0	44.3	7.6	3.8	20.3	11.4	2.5	5.1	5.1		

5. 居住意向について

(1) 奈良市での居住意向(問 28)

奈良市での居住意向については、「住み続けたい」が約8割にのぼる。

図表 II-27 奈良市での居住意向

